

12月28日にお餅つきをしました。10臼つきました。お正月の準備のお餅つきは久しぶりです。



# お餅やり

No.265  
平成27年1月10日発行  
社会福祉法人円福会  
円福寺愛育園  
園長 藤本光世

## 尽くす喜び

園長 藤本光世

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

今年のお正月は、お餅つきを復活しました。元旦には、残っている子ども達がみんなで横田のお宮にお詣りして、一年の成長を誓い、守護を願いました。そして帰園してお雑煮と黒豆とかちぐりを食べ、圓福寺恒例のお砂糖湯を飲んで新年を祝いました。今年はお正月らしく元旦を祝うことができました。子ども達が落ち着き、それぞれが目標に向かって生活出来ているからこそ、このように元旦の朝を過ごせるのでした。

昨年のことになりますが、12月18日の大雪の話題を書きたいと思います。18日は、12月には珍しい大雪となりました。

朝早く起きて、1時間ほどお寺の雪かきをして5時半ころに愛育園に行くと、暗い道路に何人かの児童の影があります。雪かきをしていました。第三駐車場までの広い道路がすっかり綺麗になっていました。嬉しくなって、子ども達に「ありがとう。道路を通る人がみんな喜ぶよ。」と声をかけました。

朝のおまいりで聞くと、小学生から高校生までの男の子が10人と、女の子も2人が雪かきをしていていました。早い子は4時半に起きて雪かきをしてくれたそうです。

子ども達に、三つの喜びのお話をしました。昔、鍵山秀三郎先生から聞いたものです。

一つ目は、何かを貰う喜び。何かを貰うと嬉しいでしょう。前に坐った小学校1年生の子がうなずいています。クリスマスが近づいて、プレゼントを貰うのを思い出したのかもしれませんが、でも、これは動物だって同じです。犬だって食事を貰うと嬉しくて尻尾を振ります。

二つ目は、何かができる喜び。これまでできなかったことができるようになると嬉しいですね。野球部の高校生が頷いています。中学生も頷いています。運動も、学習も何かができるようになると嬉しいです。

三つ目が一番尊い喜びで、それは何かをしてあげる喜び。人に尽くす喜びです。雪かきをして道路を楽に通れるようにしてあげる。通行する人は嬉しいですね。そのように、人にしてあげること



が嬉しい。これは、人間しかできないことでしょう。

朝早く起きるのは大変です。愛育園は毎朝6時20分におまいりが始まってしまいますから、それまでに雪かきをするには、4時半とか5時には起きなければなりません。誰でも朝はゆっくり寝ていたい。しかも、子どもは眠い年頃です。わがままな自分を律して、こんなにも早く自分で起きて、人のために働ける子ども達を嬉しく思いました。

子ども達も朝早く起きて雪かきをしたことが気持ち良かったのか、廊下ですれ違うたびに大きな声で「おはようございます。」と挨拶をしてくれました。表情が明るく、声に張りがありました。おまいりで般若心経を唱える声も、いつもより明るく大きく、声が揃っているように感じました。気持ちが良いです。わかるんです。子ども達にはこのような経験をたくさんして育って行ってもらいたいと願っています。

## クリスマス会

あおぞらホーム長 富沢正樹

子どもにとってクリスマスシーズンは特別な時期！！という事で、ここ数年開かれていなかったクリスマス会を行いました。

毎年、食堂の大きなクリスマスツリーに飾りつけする為の「クッキー作り行事」から始まって、クリスマスのイベントは、そのどれもが子ども達をワクワクドキドキさせます。

クリスマスの時期にはケーキも届く、プレゼントも届く、サンタさんもやってくる、クリスマスイブの晩ご飯にはローストチキンも出てくる。クリスマス会では何をしたら喜んでもらえるだろうか、と思案し、「イルミネーションをやろう」と決めました。

冬の風物詩ともなりつつあるイルミネーションですが、園の児童は中々見る機会がありません。体育館をイルミネーションで彩ったら、子ども達はどんな反応をするか？職員もワクワクしながら準備を始めます。

体育館に光の道を作って、周りにはペットボトルで作った煙突や星型のイルミネーションを置き、メインにはペットボトルタワーを作りました。煙突とタワーの製作は中高生の男の子たちにも手伝ってもらいましたが、点灯は当日までの秘密です。

クリスマス会当日、準備を整え、子ども達の入場前に全点灯すると、色鮮やかな光によっていつもの体育館とは別の空間となりました。

いよいよ子ども達が入場すると、歓声や溜息があらちこちで聞こえていきました。驚いている子、不思議そうな顔している子、見とれている子



と、子ども達の反応は様々でしたが、とても喜んでくれたように思います。

その後は、本の朗読会をしたり、ゲーム大会をしたり、最後にはケーキを食べて、みんなでクリスマス会を楽しみました。

手作りのイルミネーションで、そこまで豪華ではなかったかもしれませんが、幼児さんから高校生まで、みんなが雰囲気を大切にしてくれて、良いクリスマス会だったと思います。

来年も、クリスマスの行事が子ども達にとって、普段の生活の活力となるように工夫をしていきたいと思ひます。



### ♪サンタさんが愛育園にやってきた♪ まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

今年もクリスマスの季節が近づいてくると、子ども達の様子もソワソワ。今年もサンタさんに何を願いましょうか……。そんな事を考えていると、今年もなんとサンタさんからお手紙が届きました！！それを子ども達に伝えるととっても嬉しそうにしていました。それぞれホームに戻り、一生懸命自分の欲しいものを書いている姿がとても可愛らしかったです。今年はずっと違い、自分の頑張っている所や、これから頑張りたいこともサンタさんへ書こうと話をする、みんなそれぞれ真剣に書いていました。手紙をサンタさん専用のポストに入れる 25 日まであと〇日とカウントダウンの始まりです。

そしてついにクリスマス当日。おやつにはご寄付いただいたケーキを食べ、夕食はクリスマス特別メニューを作って頂き、お腹一杯ご馳走を食べ、それだけでも大満足な子どもたちでしたが、一番のお楽しみはやっぱり夜です。楽しみでなかなか寝付けない子ども達もいましたが……。そして朝。ホールにはたくさんのプレゼントとサンタさんからの手紙がありました！！早く子どもたちを起こしてあげようといつもより 30 分早く部屋へ行くと、すでに着替えを済ませ、布団の中でスタンバイ OK の小1と小5の女の子がいました。



プレゼント見ておいで〜と言うと、とっても嬉しそうにプレゼントへ駆け寄り、中

身を確認し、「あっ！これお願いしてたやっだ〜」と満面の笑みを浮かべていました。その声を聞きつけ、次々と子ども達が起きてきて、いつもの起床時間には全員着替え終わっていました。サンタさん効果はすごい！！さらにすごい事に、夜尿がゼロ。これは本当にすごい事です。子ども達のこの純粋な気持ちをいつまでも守っていきたくてさらに思えた出来事でした。来年もサンタさんが来てくれるようみんなでお利口さんに待っていたと思います♪



### 老人ホーム訪問

12 月 14 日、千曲市にある友悠ネットワークさんに行き、小学生たちとクリスマスリースや歌のプレゼントをして参りました。

去年に続いて 2 度目の訪問となったのですが、部屋に入ってもらい、子ども達の様子を見た管理人さんが私に「みんな、去年のより、ずっと落ち着いた良い顔をしているね。」と伝えてくれました。年に一度の交流の機会です、こういった事を言ってもらえる事はとてもうれしく思います。

さて、今年も小学生から歌とリースのプレゼントに加えて、中高生からも手作りの切り絵カレンダーもプレゼントしました。季節を表す花や風景の切り絵は細かい作業で大変だった様ですが、おじいちゃん、おばあちゃんに喜んでほしいという気持ちから一生懸命頑張りました。

小学生も本番で緊張しない様にしっかり歌の練習をして、本番では大きな声で歌をうたえました。おじいちゃん、おばあちゃんの嬉しそうな顔を見て、照れくさく笑っている小学生の顔が印象的でした。

「人に喜んでほしい」、「おじいちゃん、おばあちゃんを大切にしよう」。そんな風に考えられるキッカケとなる機会でありました。

友悠ネットワークの皆さん、ありがとうございました。

### しめ縄作り

保育士 酒井悠紀

年の瀬が近づく 12 月、ここ西横田では、地区の PTA 行事として、しめ縄作りが行われました。

### あおぞらホーム長 富沢正樹



地区の小学生と愛育園の小学生、そして地区の皆さんと一緒に行われました。地区の大ベテランの方々のご指導の下、高学年はごぼう締め、低学年はしゃもじを作ります。私は高学年の児童と一緒にごぼう締めをつくりました。1本に束ねたわらを3等分し、ねじりながら、ねじりながら締めていきます。高学年の児童も、見様見真似で実践しますが、これがなかなかの作業のようで、開始5分でギブアップ……。職員も手助けに入りながら進めていきます。徐々にコツを掴み、高学年の児童たちは、何本も何本も作り、愛育園に飾るよう、自宅に飾るよう自分達で決めているようでした。職員にプレゼントする児童もおり、職員も喜んでいました。

近年、しめ縄なども飾り物も、手軽に購入できるようになり、手作りする事も減ったように思います。地区の方々とのこのような作業をしながら、日本の伝統に触れられるこの行司、今後も継続されることを、願っています。

### 成道会・ご命日法要

### あおぞらホーム 石黒玄章

12月3日、お釈迦様がお悟りをお開きになられた事への報恩感謝の真を捧げる成道会の法要に併せ、愛育園初代園長、藤本幸邦先生五回目の御命日のご供養が円福寺で営まれました。

園長先生が導師をお勤めになり、在園している児童一同が本堂に会し、先ず成道会のご供養が営まれました。今の私達が有るのも、お釈迦様がお悟りをお開きになられた事から始まっています。正に愛育園の原点に対する御供養です。一同で般若心経をお唱えしました。皆の感謝の気持ちがお釈迦様に通じ、本堂は暖かな空気に包まれました。読経後、園長先生よりお釈迦様のお話があり、ご遺徳を偲びました。

引き続き、初代園長先生のご供養が営まれました。何時ものお参りにも増して、お経の声も初代園長先生の御遺影の前で一際高鳴ります。児童、職員の代表が御焼香をしました。お唱えが終わると、園長先生より初代園長先生のお話が有りました。愛育園の歴史から経過まで、色々な方からの支えで今が有る事を子供たちは静かに聞いていました。多くの子供達から御供養を受け、お写真の中のお顔が一際喜んでるように感じたのは、私だけではないと思います。

日々、忘れがちな原点を思い起こした法要は、子供達に対して改めて目を開かせてくれた事と思います。困った時や苦しい時は、この原点に戻って歩んで行って欲しいと願いました。

### 長野千曲ライオンズクラブ様主催の餅つき大会がありました 山口 亮

今年も長野千曲ライオンズクラブ様の主催で、餅つき大会が行われました。今年は外国の留学生さんも交えての交流となりました。餅をつき始めると周りからは「よいしょよいしょ」と声があがります。幼児さんから一緒に餅つきをさせていただきました。中高生は持ち前の力でしっかりとついて美味しいお餅を作ることができました。外国の方とも一緒に交流ができることもあって、普段から外国に行ってみたくて言っていた高校2年生のMくんは是非話してみたい・・・と不慣れではありましたが、今まで勉強してきた英語を使って外国の方に質問をしたりと会話をして楽しんでい

ました。お餅がつき終わった後は毎年恒例のビンゴ大会です。子ども達はビンゴになりプレゼントをもらおうと喜び、会場も大盛り上がりでした。美味しい豚汁にお餅にプレゼントにたくさんのご用意をいただいた中瀬の千曲ライオンズクラブ様ありがとうございました。

### 愛育園餅つき

### 青木稔七

前日からもち米を洗ってほとぼし、昔は薪を焚き火加減を気にしながら外の竈でふかしましたが、今はガスでふかします。

一年の締めくくりの餅つきです。園だけの餅つきは久しぶりです。子ども達も大喜びでお手伝い。おおお重い杵をあげ、あいどりの手を叩かないように近藤先生の店テンポに合わせてペタンペタンの掛け声も聞こえ、幼児さんから高校生ままで一生懸命手伝ってくれ特に高校生の女性HさんとMさんは最初から最後まで頑張ってくれ大助かりでした。お米もふっくら蒸しあがり、上手にこねるとすべすべの美味しいお餅がつきあがります。60キロくらいのお米をつくことができました。鏡餅も初めての挑戦です。伸し餅も上手にでき、昼食はみんなで搗いた搗き立てのお餅、おろし、あんこ、きなこなどおいしくいただきました。子ども達が大勢参加でき良かったと思います。また来年につなげたいと思っています。来年も楽しく、けがもなく行事が行われることを祈っています。

### 乗り物体験(続き)

### まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織



愛育園に帰ってくると、小学生や幼児さんが今日の出来事をとても嬉しそうに話をしてくれました。「妖怪メダルあったよ!!」「フィギアもあったよ!!」「迷わないで行けたよ!!」など沢山……。最初は不安そうな表情をしていた子ども達も無事辿り着け、とても安心した表情で帰ってきました。

夕食時には一日の様子をスライドで振り返りました。また夕食を食べながら今日一日の出来事を子ども達と振り返りました。その中で小学生のグループの中にとっても親切にしていた子どもがいるという話になりました。それは電車に乗っていた時お年寄りに席を譲ってあげたという話でした。しかもそれをやったのは小学校1年生です。その話を聞いてとても嬉しくなったことと、子ども達自身の心が成長しているんだなと改めて感じる事ができました。今までの行事でもそうですが、今回もこの乗り物体験の行事を通して、子ども達のいい所や、頑張った所をたくさん見れる事ができました。またハプニングもいくつかありましたが、無事全児童が事故や怪我もなく帰ってこれ、大成功で終わることができました。



当日まで準備頑張ってくれた先生方ありがとうございました。

**今年も乗り物体験がありました！**

**あおぞらホーム 山口 亮**

11月29日に今年も【乗り物体験】が行われました。今年の乗り物体験は戦国武将と今大人気の妖怪ウォッチがテーマでした。各地に散らばったメダルと悪者に変えられてしまったフィギュアを取りに現地まで行くミッションがありました。

ミッションでただ現地に行きメダルを取ってくるだけでは楽しみもありません。しかし、小学生の中で人気なメダルを入れる妖怪ウォッチは高くて人数分用意できません・・・ですが100円ショップで売っている材料で簡単に妖怪ウォッチが作れてしまうという話があり、さっそく材料を集めて人数分作りました。42人の妖怪ウォッチを用意するのは大変でしたが、オープニングの時に1人1人妖怪ウォッチを渡されると早速腕に身につけたり、開いたり嬉しそうにしている姿がありました。本物みたいに音は鳴りませんが子ども達は妖怪ウォッチをもらった次の日からはその妖怪ウォッチを持って当日が来るのをワクワクしながら待っている姿があり、当日までの話の中でも乗り物体験の話で何が起ころのか楽しみにしている様子が伝わってきました。

同時に進めていたのはエンディングで使うDX妖怪ウォッチ、事前の乗り物体験の話し合いの中では「大きく、物を置くと光る」というギミック付きで・・・となっていました、物を置いたら光スイッチも電子回路の作り方もわかりません。でもエンディングは1番子ども達が楽しみにしているところでもあるから手を抜くわけにはいきません。以前少しお世話になっていた恩師に電子回路の作り方を教わり、スイッチの作り方を教えてもらいました。時計自体は今回は木

で作る訳にはいかなかったので発砲スチロールを切り貼りして作り上げました。子ども達がこれを見たらどう思うだろうか色々考えながら作り上げ当日を待ちました。

当日は私もエンディングの劇の中に一緒に出演させていただき、DX妖怪ウォッチを子ども達の前に発表しました。自分達が身につけている妖怪ウォッチの数倍大きい妖怪ウォッチを見て驚きの声。幼児さんや小学生がミッションの中とってきたフィギュアを1つずつ穴の中にはめ込んでいきます。自分達がとってきたフィギュアをはめ込むと光が出て子ども達も我先にと覗き込みます。1つ1つ光が増えていくと「あれぼくが取ってきたのだよ」と嬉しそうに話す子どももいました。私も一緒に博士として出演させていただき、子ども達と楽しい時間を送ることができました。

この乗り物体験では子ども達が自分の力をテーマにしている行事でもあります、私自信今回で学んだのは何でも最初からできないと諦めない、子どもがこれを見たらどう思うだろうかと考える行事となりました。光る装置を作るのもそうでしたが、できない事に挑戦し、実際にやってみて失敗を繰り返す内に成功に繋がる事も今回勉強になりました。

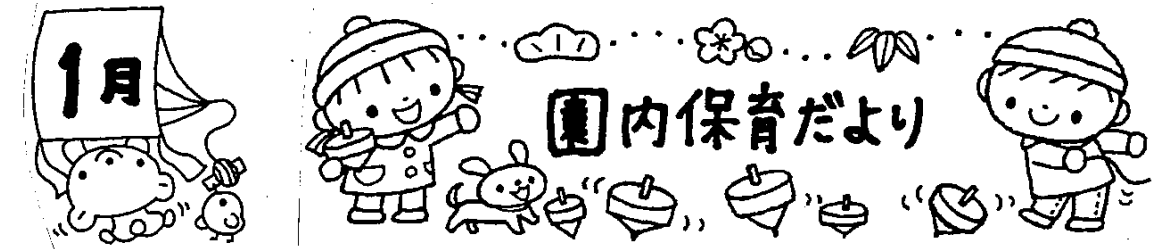


この気持ちを忘れずにまた普段から物づくりを通して行事だけでなく子ども達と更に楽しい企画を考えていきたいと思います。

#### 乗り物体験児童感想

今回で3回目の乗り物体験でした。1回目は上田城で、2回目は軽井沢に行きました。3回目の今回は松本城に行きました。1回目と2回目は二人で行きましたが、今回は一人で行くことになりました。篠ノ井駅から、松本駅まで電車で行き、松本駅から松本城まではバスで行きました。バスは違うバスに乗りそうになってしまいましたが何とか乗ることができました。お城について、メダルを見つけることができ「ホッ」としました。とて、良い思い出ができました。(高2K君)

11月29日に乗り物体験がありました。班のみんなと協力して電車や歩きで上田城まで行きました。この電車に乗ったら本当に着くかどうかドキドキしました。上田駅にちゃんと着いて嬉しかったです。メダルやフィギュアを見つけた時はとっても嬉しかったです。エンディングではなぞ解きをしてミッションがクリアしました。最後にお茶会をしました。ポッキーを食べたり、ジュースを飲みました。また来年も行きたいです。(小2 Sさん)



# クリスマス会 & 12月生まれのお誕生会

園内保育では、12月に入ってから、リースやツナグサ、輪つなぎなど色々なクリスマス飾りを作り、気分もお部屋の雰囲気もすっかりクリスマス色になっていました。

そして、12/22(月)には、待ちに待ったクリスマス会が行われました。まずはクリスマス会の準備。調理の中澤先生にご指導いただき、サンタクロースのお顔のケーキを作りました。スポンジのお顔や帽子に生クリームをぬり、沢山のフルーツをのせました。そして、フルーツの鼻とほっぺ、チョコで作った目、まゆげ、口を置き、完成です!! ☆☆☆ クリスマス会では、職員劇「赤鼻のトナカイ」をみました。そこでは、トナカイたちが「今年は誰がサンタさんのソリをひくか」話していました。しかし、赤鼻のトナカイは「き、君はムリだよ」「赤い鼻なんてかっこ悪いよ」といわれ、しょんぼり…。でも、サンタさんは「みんな違ってみんないい」と言ってくれました。黒い鼻のトナカイたちも、赤鼻のトナカイさんの良さに気づき仲直り。心配そうに見ていた子どもたちも、みんな仲良くソリをひく姿にホッとしたようです。そんな、リンリンリン…プレゼントをもった本物のサンタクロースがやってきました!! 今年は、ボール、パズル、レジスター、電車をもらいました。サンタさんとの約束を忘れずに…大事に仲良く使おうね♡



昼食会では、Rくんのお誕生会を行いました。1番前の席に座ると少し緊張気味のRくんでしたが、自己紹介ではお名前と何オになつたか、好きな食べ物を上手に発表することができました。園長先生と青谷先生からお祝いのメッセージをいただき、他にもお歌のプレゼントや素敵なお誕生日カードをもらい、とても嬉しそうでした。Rくん、これから元気にいっぱい遊ぼうね!! Rくんのお祝いをした後は、調理の先生たちが作って下さった美味しいご飯をいただき、デザートにはみんなで作ったサンタさんケーキを食べました!!

心もお腹も大満足な一日でした♡

## 年賀状づくりに挑戦!!

あけましておめでとう



園内保育では、「おしょうがつ」の歌を歌ったり、おもちゃを1つ1つ丁寧に拭いたり、自分のお道具箱の整理整頓など、お正月に向けての活動を行いました。

そして、年賀状づくりにも挑戦!! 保育者が年賀状を見せながら、「年賀状、こわ…」と説明を聞くと、子どもたちの目は輝き、年賀状に興味津々。今回は、「みんなの大好きな園長先生に年賀状を出そう!」と張り切り、取り組みました。

年賀状には、来年の干支のヒツジのかわいいイラストが描かれており、子どもたちは思い思いの色を塗っていきましょ。園長先生へのメッセージは、保育者が聞き取って代筆しましたが、年長さんには、自分の名前を書くことにも挑戦しました。「園長先生、喜んでくれるかな?」とつぶやきながら色を塗る子ども、そよぞよと内印得いくまを取り組んで完成。世界に1枚だけの心のこもった素敵な年賀状ができあがりましょ。

新しい年のはじめに届く、園内保育の子どもたちからのかわいい年賀状を、園長先生はきっと喜んで下さることでしょう♡

2学期も無事終り、(2月26日に終業式を迎えました。

園長先生より2学期(は何かおたかひ?)とお話があること、その前は沢山の皆で出たために緊張して固まってしまう子ども達、(人が言い難いこと、ボール! 焼きイモ! 運動会! 皆で負よく発言ができた。

2学期頑張ったこと、楽しかったこと、トキトキしはかた「〇〇楽しかった」「〇〇頑張りました」と言うこと、成長を感じました。

2学期には愛育日祭やボール等、おたかひの行事があり、おたかひの成長も子ども達、2学期もまた楽しませよう!!

### あおぞらホームだより

保育士 近藤 典雄

見渡す山々も白く雪景色となりました。二学期も終わり、新しい新年を迎え子供たちも寒さに負けず元気一杯に過ごしています。あおぞらの小学生の間で今UNOが流行っています。初めてやった子も上級生がルールを教えてくれたり、カードを出すタイミング考えたりとだんだんと工夫が見えてきています。今では、こたつを囲んで皆が集まってきて「先生、UNOをやろう」と声をかけてきます。相手の出すカードで一喜一憂したり残りのカードで駆け引きをしたり、時にはケンカになりそうになりますが、天気の良い日や夜の時間に毎日のように遊んでいます。また中高生の子供たちも受験や新社会人を控えている子供もいます。残り三か月と少ない時間ですが夕食の後の学習の時間やバイトそれぞれ自立に向けてのラストスパートに入りました。まだまだ不安が多いなか残りの生活を過ごしています職員も少しでもその不安がなくなるようサポートしていきたいです。

### まごころホームだより

保育士 武井萌

新年明けまして、おめでとうございます。いよいよ2015年が始まりました。今年も1年よろしくお願ひ致します。長かった2学期もあっという間に終業式を迎え、冬休みに入りました。たくさん宿題を持ち帰り、職員もどこから手をつけていこうか・・・と、子どもと頭をかかえながら1つ1つ取り組んでいます。また、徐々に帰省も始まり、年末年始をお家で過ごす子もいれば、愛育園でゆっくり過ごす子もいます。寒くてだらだらしてしまいがちですが、せっかくの長期休みなので、普段できないことに挑戦したり、残りの3ヵ月の過ごし方を見直したりする時間になれば、3学期へいいつながりになると思います。まごころホームでは、今年度2名の卒園児がいます。卒園後に向けての気持ちが日に日に増し、不安も出てきているようですが、ここを乗り越え卒園を迎えられるようにして欲しいです。今年も、明るく、にぎやかなまごころホームになるよう職員・児童協力していきたいと思ひます。

### \*クリスマス クッキー作り\*

調理主任 中澤希衣

今年もこの季節がやってまいりました。クリスマスになると食堂には大きなクリスマスツリーを飾っています。そこへ、毎年小学生と一緒に手作りのデコレーションクッキーを作って、飾るといふ、クリスマスならではの行事を行っています。今年も毎週小学生がやっている課外活動の時間を使い、クッキー作りをやりました。それぞれ好きなクッキー型を使い生地を抜き、ゼリービーンズやチョコチップなどで顔を作ったりかわいく



模様をつけたりしていきます。他にも、焼きあがったものにチョコペンでデコレーションしたりして、素敵なクリスマスクッキーができました。

夕飯のときに幼児さんや中高生は初めて見るのですが、幼児さんはクッキーのいいにおいに誘われてつい手が出てしまいそうになったり、小学生は自分達で作ったクッキーが上手に飾られていてとてもうれしそうでした。クッキー作り、今年も大成功でした！！

